

令和4年度第1回長南町地域公共交通活性化協議会議録

日 時：令和4年6月22日（水）13：30～
場 所：庁舎分館2F第1会議室
出席者：野口委員、鈴木（文）委員、丸島委員、大森委員、鈴木（壽）委員、
村杉委員、齋藤委員、高橋委員、石崎委員、長谷委員、三十尾委員
渡邊委員（代理）県交通計画課 成松様
横山委員（代理）グループ事業サポート部 係長 加藤様
下木委員（代理）管理課長 渡辺様
千葉委員（代理）交通課長 金野様

計 14名

事務局：田中主幹、渡邊補佐、佐久間
委託事業者：清水様、島田様、畑様
欠席者：成田委員、永田委員、中橋委員、大木委員

計 10名

1. 開 会

渡 邊 補 佐：それでは定刻となりましたので、只今より令和4年度第1回長南町地域公共交通活性化協議会を始めさせていただきます。本日は、公私とも大変お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日の会議につきましては、新型コロナウイルス感染防止の対応といたしまして、会場入り口での手指の消毒、十分な座席間隔の確保、そして会場の換気、これらの対応を実施したうえでの開催となりましたことに、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

また本日の会議につきましては、協議会設置要綱第8条第2項の規定により、出席者が委員の過半数に達しており、会議は成立しておりますので、ご報告申し上げます。それでは、次第に沿いまして進めさせていただきます。

2. 委員紹介

渡 邊 補 佐：本日は令和4年度1回目の会議となり、委員の変更もございましたので、お手元の名簿順にご紹介させていただきます。

〈委員紹介〉

3. 会長あいさつ

渡 邊 補 佐：続きまして会長よりご挨拶をお願いします。野口会長お願いいたします。

野 口 会 長：本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

早い所では梅雨が明けたとニュースでやっておりましたが、関東地方につきましても、来週頃には梅雨明けになるそうです。

それこそ交通事業者様におかれましては、コロナウイルス、ロシアのウクライナ侵攻等によりガソリン価格が高騰し大変ご苦労されていると思います。そのような中、事業継続のためにも国、県、町等により支援していかなければいけないと私なりには考えております。

さて、本年度は長南町の地域公共交通計画策定の2年目となります。昨年実施いたしましたアンケート調査結果等を踏まえ、より良い交通体系を実現するために、委員の皆様方には忌憚のないご意見をお願いしたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

また、本日は計画策定の委託事業者であります昭和（株）に同席いただいております。会議の中で様々なご意見が出くくるとはと思いますが、ご協力をよろしくをお願いいたします。大変整いませんが挨拶とさせていただきます。

渡 邊 補 佐：ありがとうございました。それでは議事に入る前にお手元の資料の確認をさせていただきます。次第、委員名簿、席次表、令和4年度第1回長南町地域公共交通活性化協議会資料、平成28年度長南町地域公共交通網形成計画の抜粋、長南町の公共交通に関するアンケート調査結果報告書となります。欠落等がございましたらお知らせください。

4. 議題

渡 邊 補 佐：それでは、議事に入ります。

長南町地域公共交通活性化協議会設置要綱第8条第1項の規定により、会長に議長を務めていただきます。野口会長よろしくをお願いいたします。

議題（1）令和3年度事業報告及び決算報告について

野 口 会 長：早速ですが議題に入らせていただきます。議題（1）令和3年度事業報告及び決算報告について事務局より説明をお願いいたします。

事務局佐久間：資料（P 1～3）を用いて説明

野口会長：事務局からの説明がありましたけれども、ご意見、ご質問等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。

野口会長：よろしいですか。それでは無いようですので、承認を頂いたということで次に進めさせていただきます。

議題（2）令和4年度事業計画（案）及び予算（案）について

野口会長：続きまして（2）令和4年度事業計画（案）及び予算（案）について事務局より説明をお願いいたします。

事務局佐久間：資料（P 4～6）を用いて説明

野口会長：事務局からの説明がありましたけれども、ご意見、ご質問等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。

野口会長：1つ質問させていただきます。5ページの工程表に第2回以降の協議会の日にちが記載されておりますが、今まで通り開催通知をいただけるのでしょうか。

事務局佐久間：1カ月程前に開催通知を送付いたします。また、第2回以降は1週間程前に会議資料を送付する予定で考えております。

野口会長：それでは、皆様からは無いようですので、承認を頂いたということで次に進めさせていただきます。

議題（3）令和5年度生活交通確保維持改善計画について

野口会長：続いて議題（3）令和5年度生活交通確保維持改善計画について事務局より説明をお願いいたします。

事務局佐久間：資料（P 7～14）、平成28年度長南町地域公共交通網形成計画抜粋資料を用いて説明

野口会長：説明が終わりました。

この計画については、協議会の承認のうえ、6月末までに国土交通省へ提出したいとのことですが、その点も踏まえましてご意見ご質問等ございますか。

野口会長：よろしいでしょうか。それでは、この計画について承認いただいたという事となりますので、事務局は6月末までに国土交通省への提出をお願いいたします。

議題（４）地域公共交通網形成計画の評価について

野口会長：続きまして、議題（４）地域公共交通網形成計画の評価について事務局より説明をお願いします。

事務局佐久間：資料（P15）を用いて説明

野口会長：事務局からの説明がありましたけれども、ご意見、ご質問等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。

高橋委員：2点ほどご質問させていただきます。

路線バス茂原長南線、牛久線の平成27年の利用者数が85,968人となり、目標が現状維持となっている点について、高速バスや巡回バスは目標値を平成27年に比べ高く設定していますが、路線バスだけ現状維持としている理由があれば教えてください。また、高速バスの利用者数についてはコロナウイルスの影響により減少していると記載されていますが、利用者数の調査方法について記載されているバス事業者の有する乗降データを用いて計測について具体的に教えてください。

田中主幹：令和3年度の路線バスの目標値が現状維持の理由といたしましては、当初計画を策定している時から減少傾向となっており、長南町は過疎地域となり、人口減少も続いておりましたので、茂原を中心とする茂原長南線、牛久線については高い目標を設定できなかったということで、ご理解いただきたいと思います。

事務局佐久間：高速バスにつきましては、新型コロナウイルス地方創生臨時交付金を活用し車両にラッピングを施し運行をしております。ラッピングバスにつきましては、主に茂原横浜系統を運行しており、毎月利用者数のデータを小湊より頂いております。

野口会長：その他ご意見、ご質問等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。

野口会長：ないようですので次に進めさせていただきます。

議題（５）地域公共交通計画策定について

野口会長：続きまして、議題（５）地域公共交通計画策定について事務局より説明をお願いします。

事務局佐久間：資料（P16）、長南町の公共交通に関するアンケート調査結果報告書を用いて説明

野口会長：事務局からの説明がありましたけれども、ご意見、ご質問等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。

高橋委員：アンケート調査につきましては65歳以上の町民1,000人に対し送付し、回収が609通とのことですが、平成28年に実施した際も1,000人を対象に行ったのでしょうか。
もう1点といたしましては、17頁の問16で長南町の公共交通の重要度とあり、約7割の方が重要、どちらかと言うと重要と回答している一方で、どこの市町村においても共通しておりますが、自家用車での移動が大半を占め、公共交通の利用については悩んでいる方が多く利用者が増えない状況になっていると思われま。地域性にもよりますが、町民のお考えとしては、免許証を返納したら公共交通を利用するといった認識でよろしいでしょうか。

事務局佐久間：1点目のご回答といたしましては、平成28年度に実施した際は、65歳以上が居住する900世帯を対象にアンケート調査を実施いたしました。実施時期は7月20日から8月9日となり回答者数は638人で回収率は71%となります。

田中主幹：2点目につきましてですが、長南町は農村地帯となり、基幹産業が農業という事もあり軽トラを利用する高齢者が多い状況となります。新聞報道等で高齢者の事故等は取り上げられておりますが、長南町においても高齢化率が45%近くとなりますが、どうしても自家用車に頼らざる負えない状況であります。確かに問16のように皆さん公共交通の重要度は認識されてはいますが、経済圏が茂原といった中で路線バスにおいても便数は少なく公共交通に切り替えるには

厳しい状況となります。以前茂原警察署より調べた長南町民の免許証の自主返納者数は平成29年が18名、平成30年が20名、令和元年が26名、令和2年が18名といった中で、私の母親についても事故を起こして家族から言われ、免許を返納したような状況です。やはりどうしても、年をとればとるほど自分の活動範囲を求め中、認知症などの問題もありますが、長南町のような田舎では人との触れ合いがないと、なかなか町民の楽しみがございません。そのような中、どうしても移動手段としては自家用車に頼らなければいけないといった実態となっております。そのような状況も踏まえ、計画を策定するわけですが、巡回バスやデマンドタクシー等の公共交通機関の課題等を整理し、次期計画を策定することが非常に重要となります。本日は委託事業者であります(株)昭和も同席いただいておりますが、全国的な過疎地域の公共交通がどうなっているのか等の情報提供を頂く中で長南町にとってより良い交通体系となれば良いと考えております。

高橋委員：ありがとうございました。高齢化率や免許証の返納率などのお話を聞き、自家用車に頼らなくてはいけない状況だと感じました。私は都市圏に住んでいるため公共交通を利用する機会が多くなりますが、車社会で生活していると公共交通に切り替えるのはなかなか難しいのかなと感じます。しかし、何か特別な理由で車が利用できなくなった時には公共交通は非常に重要になります。長南町においても巡回バスやデマンドタクシーをうまく使って、路線バスとうまく連携していくことで今後も維持していければ良いと思います。この前研修で公共交通を利用することは健康によいと聞きましたが、いきなり切り替えるのは難しいと思いますので、徐々に切り替えられるようになればよいのかなと思います。また、長南町には高速バスがあり、羽田空港、横浜、に行けるという環境の中で新型コロナウイルスの影響もあり利用者は減少している状況ではありますが、ホームページ等で感染対策については周知しており、関東運輸局でも安心してご利用できますとお声がけしておりますので利用者が回復していけば良いと思います。長南町は今年度計画策定になりますので、私も会議等を通じてご協力できればと思いますのでよろしく願いいたします。

5. その他

野口会長：続きまして、その他ですが事務局から何かございますでしょうか

事務局佐久間：次回の協議会の日程ですが、令和4年8月26日(金)を予定しております。会議1カ月程前に開催通知を送付させていただきますのでよろしくお願いいたします。

たします。

野口会長：それでは、本日の議題につきましては終了いたしましたので、議長の任を解かせていただきます。進行につきましては事務局にお返しいたします。よろしくお願いいたします。

7. 閉 会

渡邊補佐：野口会長ありがとうございました。

以上で、本日の長南町地域公共交通活性化協議会は、終了いたします。
お疲れ様でした。

閉会 15:00